

学校図書館職員 事例発表

各務原市立緑陽中学校
吉田 小百合

当校は、学校図書館職員の勤務時間が割と短いので、業務を効率的に行うことが不可欠です。そのためのコンセプトは、「最小の労力でも、最大の効果を!」。

1. 教職員の協力を!

学校図書館は、学校教育すべてに関わるものです。それだけに、司書教諭・学校図書館職員のみならず、すべての教職員によっても支えられているのです。言い換えれば、図書館の業務は、それぞれ担当の教職員の協力を得ることによって、よりスムーズに行うことができます。

2. 予習が大切!!

司書教諭の先生方の指示を待つだけでなく、図書館職員から提案した方が早い場合もあります。適宜、相談をして指示を仰ぎます。

3. 再利用できる資料はどれ?

前回の資料・前年度の資料・掲示物など、再度使える資料は取っておいて、再利用しています。

4. 必要なときは、

「NO!」と言える関係を!

先生方と相談し、より効率的な業務の方法があるのであれば、提案します。

学校図書館職員 引継ぎ資料 目次

司書教諭との連携
年度始め準備
図書館オリエンテーション
予算と購入図書の申請
貸出しと統計
図書の受入れ
図書の装備と補修
蔵書点検
除籍手続き
図書委員会
その他